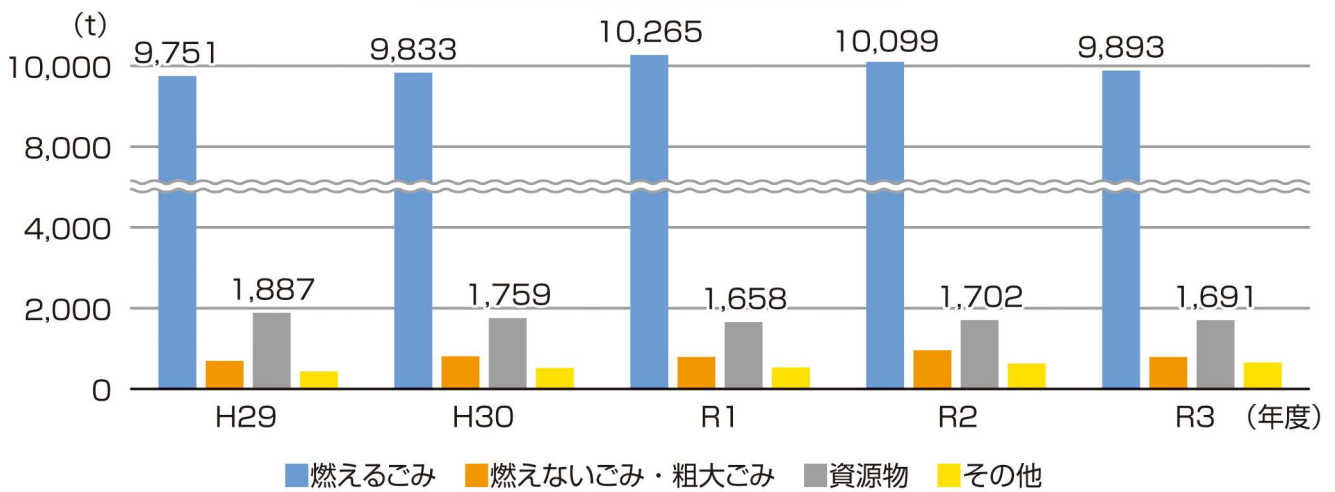


燃やさず資源に! ごみの減量・分別にご協力ください。

村では、平成12年度から資源物の回収を開始し20年以上が経過しています。この間、プラスチック製容器包装の分別開始や、ごみ袋の有料化などの大きな転換点があり、一時は燃えるごみの量は大きく減少しましたが、近年再び増加する傾向にあります。一方で、資源物の収集量は減少傾向となっています。

一人ひとりが“ほんの少しだけ”意識することで、焼却するごみの量を減らすことができます。焼却する際の二酸化炭素(CO₂)や埋立灰の発生量を抑えることで、地球温暖化対策や最終処分場の延命だけでなく、ごみ処理費用の削減にもつながります。引き続き、ごみの減量・分別にご協力ください。

東海村のごみ収集実績の推移



適切・安全にごみをリサイクル・処理するため、
正しいごみの分別にご協力をお願いします。

混入物の例



ペットボトル

- キャップとラベルは外しましょう。
- プラスチックボトルを混ぜないでください。



燃えないごみ

- 燃えるごみや資源物を混ぜないでください。



プラスチック製容器包装



- 医療用器具を燃えるごみ・燃えないごみに混ぜないでください。